

情報

地震発生時の電気火災から自宅を守る
家庭への感震ブレーカー設置に補助金を交付します

東日本大震災の際に発生した火災の原因は過半数が電気によるものでした。「感震ブレーカー」は揺れを感知したときに、コンセントなどの電気を自動的に止める器具です。不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

補助対象者

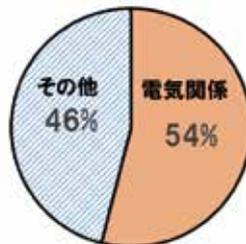
- ・自ら所有、または居住する市内住宅に設置する人（賃貸住宅の場合、当該住宅の居住者）
- ・市内に新築する一戸建ての住宅に設置する人

対象製品 （一社）日本配線システム工業会が定める規格で、感震機能付住宅用分電盤（JWDS0007付2）の構造及び機能を有するもの

補助対象経費 購入および設置工事に要する経費

補助額 補助対象経費の2/3以内で千円未満を切り捨てた額（上限：2万5千円）
新築の場合 1万円

補助回数 1人につき1回限り
申請期間 令和3年1月29日(金)まで
☎ 閩危機管理課 ☎ 983・2650



◀東日本大震災における火災の発生原因（日本火災学会議「2011年東日本大震災火災等調査報告書」より作成）



予告

7月1日から募集開始
三島市民カレンダー掲載写真

令和3年版の三島市民カレンダーの掲載写真募集を7月1日から開始予定です。

■令和3年版掲載写真募集

テーマは「未来に残したい三島」です。後世に受け継いでいきたい三島の光景を収めた写真をご準備ください。※応募方法など、詳細は7月1日号でお知らせします。



▲令和2年版の掲載写真

閩広報情報課 ☎ 983・2620

情報

無料で専門家を派遣
既存住宅を診断します

中古住宅の流通を促進させるため、売却する住宅を対象に、市が無料で専門家を派遣し住宅の劣化などを診断（インスペクション）します。診断をした物件は三島市ホームページ内の「三島市中古住宅情報サイト」に掲載します。

☑市内にある、売却する住宅（宅地建物取引業者と専任媒介契約を交わした住宅）

調査項目 シロアリなどの被害状況、腐朽・腐食や建物の傾斜状況、躯体のひび割れ・欠損、雨漏りや漏水、給排水管の漏れや詰まりなど

☎詳細は市ホームページ

閩建築住宅課 ☎ 983・2750



▲申込み方法などの詳細



▲三島市中古住宅情報サイト

情報

災害時の緊急情報などを受け取る手段として、友だち登録をしてください
LINE から情報発信中

昨年7月から、「三島市 LINE 公式アカウント」を開設し情報発信しています。スマートフォンなどで公式アカウントと「友だち」になると、災害時の緊急情報、行事情報など、市からのお知らせを受け取ることができます。ぜひ、ご利用ください。

※友だち登録にはLINE アプリのインストールと、LINE アカウントが必要です。

登録方法

①ホーム右上のアイコンをタップ



②「QRコード」アイコンをタップ



③下のQRコードを読み取る



④「追加」をタップで登録完了！



問広報情報課 ☎ 983・2620

予告

ご意見お待ちしております
令和2年度パブリック・コメント実施予定（10月実施分まで）

パブリック・コメント制度について

市が基本的な政策などを策定する場合、市民の皆さまからご意見を伺い、それを考慮して最終案を決定します。その際に、寄せられたご意見に対する行政の考え方を併せて公表する制度です。

令和元年度の実施結果、令和2年度の意見の募集予定など詳細は、市ホームページから「パブリック・コメント」と検索してください。



■制度の目的

行政運営の透明性の向上や市民の行政参画の機会拡充を図り、行政運営の公正を確保します。

■令和元年度実施結果

8件のパブリック・コメントを実施した結果、10件の意見などをいただきました。

■令和2年度パブリック・コメント実施予定

今後、広報みしまや市ホームページ、生涯学習センター、公民館などでお知らせしていきます。

案件名(案)	担当課	意見募集予定期間
第5次三島市総合計画基本構想	政策企画課	6月10日～7月10日
三島市無電柱化推進計画	都市整備課	7月13日～8月12日
三島市男女共同参画プラン	政策企画課	10月1日～10月30日
第4次国土利用計画(三島市計画)	政策企画課	10月1日～10月30日

※11月以降に実施が予定されている案件は、次月以降に改めてご案内します。

問政策企画課 ☎ 983・2616